

第 155 号

2020 年 1 月 24 日

発行 平生町議会

〒742-1195

山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1

TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109

発行責任者 中川 裕之

編集 議会広報広聴調査特別委員会

印刷 中村印刷株式会社

議 平生町  
議会だより



謹賀新年

今年は子の年 繁栄の年に！

12 月  
議会報告

定例会・常任委員会審査報告… 2～4ページ

いっぱん質問…………… 5～12ページ

常任委員会行政視察・研修報告…… 13ページ

広報研修・議会の動き・3月定例会予定… 14ページ



# 新年のごあいさつ



平生町議会  
議長 中川 裕之

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい二〇二〇年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は町議会に對しまして温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本町では取り組むべき課題が山積していますが、その中でも国の起債事業を活用しておこなう新庁舎整備事業は喫緊の課題です。問題は財源であり、建設事業全体と関連経費で10億円余りとなっています。そして、そのほとんどを借入金で賄うことになっており、後年にはじまる返済のための財源対策はこれからです。

このような状況の中、将来負担への配りよがされているかなど、町民の視点に立った審議を重ねることと、地方議会の二元代表の根幹である議会本来の役目を果たしていきたいと考えております。

そして、議会運営全般についても創意工夫に努め、町民と行政のパイプ役に徹して、住んでみたい、住んでよかったと実感できるまちづくりに向けて全議員がワンチームとなり、強い議会を目指し、取り組んでいく所存であります。

本年も変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

2019年第7回平生町議会定例会が、12月11日から20日までの10日間の日程で行われ、議案として、補正予算7件、条例5件、が上程され、各議案は、全会一致または賛成多数で可決されました。また、追加日程として、意見書案第1号「上関原子力発電所建設計画に関する意見書」が審議され、賛成少数で否決されました。

一般質問は、9人の議員が町政の諸課題について質問しました。

## 一般会計補正予算

4, 214万8千円追加  
総額 51億7, 169万6千円

### 主な歳入

#### ▽町税

町民税 現年課税分  
1, 400万円増

固定資産税現年課税分  
1, 500万円増

▽国庫支出金 国庫補助金  
情報通信費補助金 98万4千円増

社会福祉費補助金 140万3千円増

児童福祉費補助金 125万7千円増

道路橋梁費補助金 1, 508万円増

河川管理費補助金 1, 144万円減

▽県支出金 県負担金  
保健基盤安定負担金 342万4千円増

水産業費補助金 329万3千円減

#### ▽雑入

71万8千円増

#### ▽農業債

240万円増

#### ▽水産業債

300万円減

#### ▽道路橋梁債

1, 070万円増

#### ▽河川債

770万円減

### 主な歳出

#### ▽総務費

情報通信費 委託料 302万5千円増

財産管理費 積立金 1, 359万2千円増

地域交流センター運営費 需用費 166万6千円増

#### ▽民生費

老人福祉総務費 扶助費 485万5千円増

障害者福祉費 委託料 144万5千円増

保育所運営費 負担金 108万6千円増

#### ▽衛生費

母子衛生費 委託料 125万1千円増

#### ▽農林水産業費

土地改良事業費 負担金 270万円増

漁港建設事業費 工事請負費 658万4千円減

#### ▽土木費

道路橋梁維持費 委託料 2, 000万円増

道路橋梁維持費 工事請負費 700万円増

河川維持改良費 負担金 2, 000万円減

#### ▽教育費

幼稚園費 賃金 172万3千円増

図書館費 賃金 123万8千円減

#### ▽職員給与費等(全体)

給料512万6千円減

## 特別会計補正予算

326万8千円追加  
総額 41億8, 846万1千円

#### ▽国民健康保険事業

392万7千円追加

#### ▽下水道事業

147万5千円減額

#### ▽漁業集落環境整備事業

30万9千円追加



## 主な条例

### ▼平生町総合計画条例

※地方自治法に規定されていた総合計画基本構想の議会議決規定が平成23年に削除された為、総合計画を町の最上位の計画と位置づけ、基本構想を策定し、変更しようとするときは議会の議決を経ることとするもの。

### ○委員会審査報告

(次頁参照)

### ▼地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

※地方公務員法及び地方自治法の一部改正により会計年度任用職員制度が創設されたことに伴い、所要の措置を講ずる為、会計年度任用職員の適用等について規定するもの。

### ▼平生町会計年度任用職員の給与等に関する条例

※地方公務員法及び地方自治法の一部改正により会計年度任用職員制度が創設されたことに伴い、所要の措置を講ずるため、本条例を制定し、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について必要な事項を定めるもの。

### ▼上関原子力発電所建設計画に関する意見書

「現在のの上関原発予定地のボーリング調査を直ちに中止し、新しい安全基準・避難方法が示されたことを平生町及び平生町民に説明し、意見を聞き、理解と信頼を得、住民投票にて賛同を得てから着手すること」を求めて、日本政府、山口県知事、中国電力(株)に対し、意見書を提出。(賛成少数)

## 賛成討論

しばらく調査を延期とのことであるが、上関原発建設計画自体、原子力安全委員会において審査がたなざらしなっている。

国は、2年間原発の新増設は行わないとしているが、その2年先を見越しての今回のボーリング調査である。中国電力は上関原発の建設計画の意欲はあると思われる。

福島原発の事故を勘案すると、隣接する本町は万が一の事故の時は取り返しのつかない大きな被害を受けることが想定される。重大な建設計画がある現在、隣接町として黙っている状況ではない。

「新しい安全基準・避難方法が示されたことを平生町及び平生町民に説明し、意見を聞き、理解と信頼を得、住民投票にて賛同を得てから着手すること」こそが今、平生町に求められていることであると考える。

## 委員会 活動報告

### 総務厚生常任委員会

11月29日に委員会を開催し、地域福祉についての調査を行い、平生町社会福祉協議会の重度要介護者向け通所介護施設の建設状況を視察しました。

### 産業文教常任委員会

12月5日に委員会を開催し、下水道事業・学校教育の振興について調査を行い、田布施川流域下水道浄化センター、佐賀地区浄化センターおよび平生中学校・小学校の学校給食調理場を視察しました。

### 魅力ある議会づくり調査特別委員会

10月30日、12月2日に特別委員会を開催し、協議項目について協議を行い、協議項目を、  
①議員定数  
②議員報酬  
③議員活動  
④議会広聴活動  
⑤なり手不足対策  
の5項目とすることが決まりました。

## 反対討論

今回の条例改正は、住民の命と暮らしを守り、地方自治の担い手である地方公務員制度の大転換である。また、公務運営のあり方そのものを変質させる危険性を含んでいるといえる。任期の定めのない常勤職員を中心とする公務運営の原則が崩れている状況や、国や自治体によって進められてきた非正規化を否認し、固定化するものである。住民の命や暮らし、権利を守る自治体の仕事は恒常的かつ専門性が求められ、臨時的で非常勤的な職員が担うことは想定されていなかった。今回の条例改正で、臨時・非常勤職員の多くが、会計年度任用職員に移行すると思うが、問題点として

①任期を、会計年度内を超えない範囲としていることで、更新しないことに対して根拠を与えるものとなっている。

②これまで雇用の中断は、不適切、是正すべきときとされていたが、雇用中断が残る可能性がある。

③フルタイムとパートタイムの規定があり、大きな格差がある。

④一般職の地方公務員になるので地方公務員法に規定された公務上の義務・規律・人事評価が適用され、労働条件では正規職員と格差を残したまま正規職員並みの義務等が課せられることが矛盾している。

⑤正規職員と非正規職員の差が厳然と残され、フルタイムとフルタイムに近い任用職員に支給される期末・退職手当について、「しなければならぬ」ではなく「支給できる」とされていることは、財政事情によっては支給しないことも想定される。

最後に、民間準拠が原則の公務の職場においても有期雇用を無期雇用へ転換できる仕組みがあってもいいのではないか。採用試験に合格すれば正規職員として道が開かれると言うが、苦勞して働き続けた方にもそうした道も開くべきだ。

赤松義生 議員

赤松義生 議員

# 委員会審査報告

## 産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた案件を12月16日に慎重に審査した結果、議案は全会一致ですべて可決すべきとなりました。主だった審査経過は次のとおりです。

### 一般会計補正予算

**質** 環境保全費にて、空家等対策計画の策定状況は。国の補助対策に対応できているのか。

**答** 危険な住宅に起因する損害が生じた場合は、空家等対策計画は、平成30年3月に策定し、これに基づいて対策を講じている。危険な住宅の除去が想定されるが、補助制度の活用については今後検討を行いたい。所有者には、民事上の責任が生じてくる。

**質** 土地改良事業費において、水路の建設が必要な理由は。

**答** 県が整備した農免農道からの雨水対策として地元から要望があり、町事業での施工を求められていたが、県事業で施工することになったため町の町負担分。

**質** 漁港建設事業費は、当初予算で、1,200万円の水産物の物揚げ場の工事請負費が658万4千円減となっているが、約半額で完成したのか。

**答** 前年度工事の入札減で、昨年度の施工延長が伸び、今年度の事業量が減少したための減額である。

**質** 小学校のプール濾過装置の保守点検等の実施方法は。

**答** 機器メーカーに委託している。

**質** 下水道事業特別会計補正予算額の内訳は。

**答** 人事院勧告によるもののほか、人事異動による人件費の減額。

**質** 漁業集落環境整備事業特別会計補正予算

**質** 漁業集落排水施設管理費において、無線局の再免許の手数料とは何か。

**答** 無線従事者の人事配置はどのように対応しているのか。

**答** 5年毎に必要なマンホールポンプの無線通報装置の再免許の申請費用である。無線局の出力が一定電力以下のため、従事者の配置は必要ない。

**質** 地域振興費にて、消耗品費、報償費及び使用料の内訳は。

**答** 東京で開催した「ひらおファンクラブ」らおファンクラブin東京」全体の経費は、消耗品費については、絵画寄贈に伴う額縁の購入のための増額。報償費の減額、使用料の増額はそれぞれ「ひらおファンクラブin東京」における食料費や抽選会の景品の経費に対するお礼、会場の使用料の経費である。全体で約70万7千円である。

## 総務厚生常任委員会

本会議から付託を受けた案件を12月17日に慎重に審査した結果、予算、条例については全会一致で可決すべきとなり、意見書案第1号については、賛成少数で否決すべきとなりました。主だった審査経過は次のとおりです。

### 一般会計補正予算

**質** 一般会計補正予算

**答** ①計画の策定に重点を置いて、町民の意見を聞きながらやっていくスタンスでいきたい。

**答** ②条例を町民にもわかりやすくする為、課名を明記した。課名等が変更した時は条例改正を行い、適切に対応。

**質** ③条例には施行規則があるが、それが最初の規定の仕方だと思いが、そこまで必要ないという判断があれば、もう少し簡単な定め方になる。

## 条例

### ▽平生町総合計画条例

**質** ①条例案第1条について、「趣旨」ではなく、「目的」として定義した方がいいのでは。

**答** ②条例案第15条の審議会の庶務を「地域振興課」と明記することについて、課名が機構改革により変わってしまうがどう考えているのか。

**答** ③条例案第15条の委任について、委任先を規則により限定した方がいいのでは。

### 意見書審議

▽上関原子力発電所建設計画に関する意見書

新規制基準適否のための調査を実施しているため、調査の中止を求める意見書を提出する必要はないのではないか。

河藤泰明 議員

前日、中国電力が「上関原子力発電所 追加地質調査に係る海域でのボーリング調査の一時中断について」を発表したことからも、もう少し様子を見てはどうか。

河内山宏充 議員



細田留美子 議員

# いっぱん質問



が聞きたい

## 質 住民納得の計画を作れ

### 答 実効性のある政策展開が不可欠

質

町長就任後、丸一年が過ぎた。総合計画策定で何を実現していくのか。

この策定に向けて住民の参画が重要となる。町民が納得して行政と協力するまちづくりの計画としたい。今後の取り組みを聞く。また未来を担う青少年の参画はどう考えているのか。子ども議会などの取り組みは考えられないか。

答 町長

本町を取り巻く環境は大変厳しく、この難局を乗り切っていくためには、町民の皆様と一体になる必要がある。この為、次期総合計画で、共有できる未来の姿を描きたい。小中高を対象に出前講座を実施し、平生町の未来等について意見交換の場を設けたい。子ども議会も議会、行政を知る意味として必要なことだと思う。



第四次平生町総合計画実施計画書

## 質 ふるさと納税の積極的な戦略展開は

### 答 町の魅力を引き出し、寄付を頂きたい

質

ふるさと納税額は初年度117万円だが昨年度は4,870万円と順調に伸びている。昨年、町長は「本町の取り組みへの共感が寄付に結びつくよう誘導する」と話された。効果はあったか。重要な自主財源であり地場産業の育成にも役立つ。一億円を目指すと積極的な戦略の展開は考えていないか。

答 町長

新庁舎建設の為に寄付を募り、現在85万円の寄付となっております。大変嬉しく思っています。「イタリアーノ事業に協力したい。」「一緒に作り上げたい。」そういう方たちの寄付を募って、それが本当にたくさん来るようになれば、この事業をやれという、激励と思う。今後、町の魅力を引き出し、この特産品はいいなと思ってもらって寄付を頂きたい。

年度	件数	金額
2018	1,968	48,701,236
2017	1,624	44,381,000
2016	884	17,006,000
2015	91	2,815,000
2014	21	1,097,000

最近5年間のふるさと納税件数と金額



岩本ひろ子 議員

## 質 ふるさと納税の宣伝・返礼品開発の取組は

### 答 新たな返礼品の発掘・開発に努める

質

ふるさと納税の現在 平成30年度決算に  
状況で、納付金額帯の おいて寄付件数1、  
割合・人気の返礼品・ 968件、前年度比  
都道府県別申込状況は 344件の増加、寄附  
どのようになってい 金額4,870万円。  
のか。この寄附金額は 前年度比432万円の  
当町の貴重な財源にな 増加となっている。  
るので、宣伝広告や返 今年度に入り新規事  
礼品の開発の取り組み 業者が2社、新規返礼  
が必要と思う。そこで 品が5品、現時点で56  
目標額を掲げ返礼品の 品目となっており、今  
見直しと改善を重ね 後も新たな返礼品の発  
て、あらゆる分野の町 掘、開発に努め、新た  
内の企業や町民より企 な手段を用いた宣伝等  
画募集してヒット商品 を検討するとともに、  
につながる返礼品を作 あらゆる機会を捉えて  
ることはできないか。 PRをしていきたい。

答 町長



## 質 地域防災について企業間・災害弱者への取組は

### 答 合同防災訓練・配りよした支援に努める

質

様々な災害が起こる 昨年、防災意識は高  
まっている。非常時に 備えて住民生活の安全  
と安心を守るためにも 地域防災と企業との連  
携協力関係の構築と災 害発生時の企業間との  
マニュアルの作成と訓 練をしていく取り組み  
を問う。また災害弱者 への対策で、避難支援  
の方針と非難施設の整 備について問う。

答 町長

危険物取扱事業所と 消防機関との合同防災  
訓練が実施されている。 高齢者、障害者、乳児  
乳幼児等の要配りよ者 は、災害時の行動に多  
くの困難が伴い、要配 りよ者に配りよした防  
災対策を推進し、安全 確保体制を整備してお  
く必要がある。  
本町では避難所内に パーテーションを設置  
したり、小部屋を提供 したりして独立したス  
ペースを確保し、配 りよした支援に努める。



平生町地域防災計画



松本武士 議員

## 質 上関原発ボーリング調査工事について

### 答 説明を受ける時期ではない

質

ボーリング調査工事に  
関する町長の考えは。

周辺自治体に新規制

基準に合った上関原発  
の説明・意見聴取を国  
がして、周辺自治体の  
事前了解（同意権）を  
得てから工事に入るべ  
きではないか。

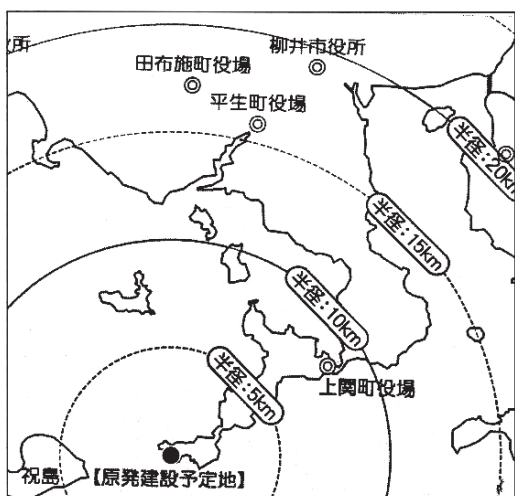
過酷事故の際は、財  
産権、生存権の侵害が  
生じる。説明・意見聴  
取後、建設に関して住  
民投票で賛否を問うべ  
きではないか。

答 町長

国や県、あるいは中  
国電力から建設に係る  
説明を受ける時期では  
ないと判断している。

国や県、周辺自治体  
の意向等、議会の考え  
など、全体の状況を見  
きわめながら、町民の  
安全・安心を守るとい  
う立場から判断する。

住民投票の実施につ  
いては町民の意見を踏  
まえ慎重に検討してま  
いりたい。



建設予定地からの距離

## 質 農業振興は緊急の課題だ

### 答 できるだけ早く努力したい

質

ソーラーシェアリン  
グ（営業型太陽光発  
電）を町で推進できな  
いか。

イタリアノひらお  
との相乗効果を狙っ  
て、イタリア野菜の種  
や苗の補助を出して  
は。また、小麦の栽培  
を促進してピザ、パン  
づくりを推進する体制  
は。稲の戸別所得補償  
も考えては。  
人・農地プランの実  
質化の進め方で、平生  
町の現状、今後の進め  
方は。

答

町長

山口県内で1件、町  
として推進していくに  
は研究が必要。

イタリア野菜の栽培  
についての取り組みは  
地域おこし協力隊が推  
進している。

現在の本町農業の現  
状を考え合わせ本町独  
自の農業支援策を考え  
てまいりたい。

人・農地プランの実  
質化は、担い手候補が  
ほとんどないのが現状  
であり、推進できない  
大きな障害となってい  
る。



ソーラーシェアリング





平岡正一 議員

## 質 新庁舎建設の財源計画は

## 答 事業の見直しと新しい税を検討する



建て替えが予定されている現庁舎

**質** 新庁舎の建設手続きが完了間近になっているのに財源計画は示されていない。  
今でも財源不足で身近な事業が進みにくい状況であり、庁舎の建設でこのままでは深刻な状況も予測される。

**答** 町長 基本計画から整備計画が進み、実施設計、建築工事、庁舎解体、駐車場整備等の事業費では現在約10億円となると推定している。  
令和15年度からは起債の償還が増える状況はある。  
事業を一つずつを見直していかなければならない時期にきている。都市計画税も具体的政策として、実行しなくてはいけない時期も今後出てくると思っている。

## 質 弱者が希望を持てる町の政策を

## 答 災害弱者避難・障がい者雇用の推進

**質** 全国各地で災害が発生してこれまでの避難対策では対策出来ない状況になっている。  
特に障がい者・難病患者の対策は抜本的な検討が必要と思う。避難行動要支援者の個別支援計画策定が必要になっているがどうか。  
障がい者の雇用もすすんでいない。障がい者の働く希望を実現すべきだ。障がい者の視点で採用計画の策定を求める。



平生町社会福祉協議会  
ふれあいまちづくりセンター（あいあむ）

**答** 町長 災害弱者については、きちんとした対応ができるよう事前にマニュアル等をつくり、対応していきたいと思っている。  
障害者雇用の促進等に関する法律に基づき報告する本町の障害者雇用不足数は0であるが障害者枠の職員採用について検討する必要があると考えている。





中本敦子 議員

**質** ハートピアセンターの活用・出来ない理由より出来る方法を

**答** 周辺環境の整備に配りよし、提案は検討する

**質**

15年位前から利用者が減少し、活気がなくなり、草や雑木も茂ってきた。

阿多田公園、大星山、風車、運動広場、公園など海山に囲まれ、ハートピアから眺める風景は素晴らしい。自然に恵まれており、観光振興にもつながる。例えば、美しくするために、管理者、グループを募集し、年間計画を作成。四季を通じて花を咲かす工夫をし、年2回伐採、草刈り等の管理を行い、年中きれいな癒しのハートピアに再開発できないか。

**答**

町長



ひらおハートピアセンター

都市と農漁村の交流の場として、農漁村地域トータルライフ向上対策事業を活用し、設置したが、運営協議会の方々の高齢化により、目的に沿った活動が行えていない状況である。

地域おこし協力隊による活用も模索しているが、個別施設計画策定の中で検討する。

平成27、28年度に景観伐採を行い、眺めはある程度確保できている。

周辺の地権者の協力も仰ぎ、周辺環境の整備に配りよし、提案については、検討する。

**質** 総合計画、次代を担う若者・中学生の意見を取り入れて

**答** アンケート・出前講座を活用して取り入れたい

**質**

選挙権が、18歳からとなり、これからの平生町を担う若者、いちじるしく成長し夢を抱く中学生らの意見に耳を傾け、総合計画の策定に取り組みべきと思う。

総合計画の意見集約には、「幅広く配りよする。」との細田議員の質問の答弁に、町長の覚悟や思いが伺えた。町民とともに、夢のある町づくりの策定を期待する。

**答**

町長

18歳以上の男女を対象にアンケート調査を行い、現在集計中。

小中高生を対象に、総合計画に関わる出前講座を予定している。総合計画を理解していただいた上で、意見交換や意識調査を行いたいと考えている。若者や小学生など、次世代を担う若者も含まれたすべての住民が、まちづくりの主体となるよう、総合計画を策定してまいりたいと考えている。



空から見た平生の街



河内山宏充 議員

その他の質問

●町の文化財について

**質** 今後の資金不足に対応した新税の導入は

**答** 消費税増税もあり、慎重に対応したい

**質**

平生町公共施設等総合管理計画（2017年策定）では、今後40年間の公共施設（ハコモノ・インフラ）の維持更新費用を試算、1年間あたり4.8億円資金不足とされている。実施計画では、2020年度中に個別施設計画を策定、2021年度から計画実施予定とされている。新たな税の導入について所見を尋ねる。

**答** 町長

健全な財政運営のため、都市計画税を中心に検討してきたが、下水道の公営企業会計への移行により、料金の見直しが必要となるので、見送りし、継続して検討することになった。消費税率の見直しもあり、新たな税負担の導入時期は慎重に行う必要がある。老朽化した施設の長寿命化のために、財源を掘り起こしながら、基金の積み立ても始めている。



架け替えが延期された共栄橋

**質** 機動性に富んだ消防車の軽量化を

**答** 消防団幹部会議で協議したい

**質**

消防団装備の軽量化について尋ねる。本町では地形、インフラ整備の状況から、常備消防並みの車両及び装備は必要ないのでないか。費用対効果の面から、小型ポンプ付積載車1台の入札価格は約900万円。老朽化とはいえ更新することは費用対効果の面からどうか疑問に思う。所見を訪ねる。

**答** 町長

老朽化が進み、部品の供給ができず、修理が困難になる場合もあり、20年以上経過した車両については、計画的に更新している。今後も更新計画に沿って整備していきたい。第5、第8分団には、道幅の狭い地域に対応するため、軽消防車を各1台導入している。更新車両の軽車両化については、消防団幹部会議で協議したい。



第8分団の軽消防車



赤松義生 議員

その他の質問

- 国保税の引き上げについて
- 地域医療構想について

### 質 米軍機の爆音について

#### 答 苦情が多くなれば対応を検討する

質

米軍岩国基地においては、横須賀を母港とする空母艦載機の移駐が完了し、岩国基地は、約120機の航空機を擁する一大拠点となった。

航空機の機数が増えたため、当然うるさくなるが、

①爆音についての苦情はあるか。

②平生町の上空が、飛行コースになってはいるか。

③飛行・爆音について苦情の受付・状況の把握に努めるべきではないか。

答

町長

爆音についての苦情は本町には寄せられていない状況だったが、昨日19時に「うるさい」と一件苦情があった。柳井市では今年18件と聞く。

中国四国防衛局に照会したところ飛行コースについては承知していない。防衛省は引き続き安全面に最大限配慮するとの回答。町民の健康保護、生活環境保全の観点から苦情が多く寄せられれば対応について検討していく。



岩国基地を飛び立つ米軍機の爆音

### 質 上関原発ボーリング調査について

#### 答 状況を見きわめながら判断する

質

福島原発事故後8年が経過したが、4万人の方が避難生活を余儀なくされ、避難解除区域にしても住民の帰還はほとんど進んでいない。

福島の現状について認識はあるか。

8年前の議会で原発建設計画に関する意見書が決議されている。この決議を尊重できるか。

新增設を目指して、ボーリング調査を行ううとしてしているが、隣接の町として見過ごしていいのか。

答

町長

過酷事故が発生すれば住民に重大な影響を与えるという認識はしている。

平成23年議会で全会一致で可決された意見書は建設予定地から20キロ圏内にあり事故が発生すれば多大な被害を被ることから国及び県に対し十分な安全性を求める内容と認識している。内容を尊重したい。

国や県、周辺自治体、町民の意見など全体の状況を見極めながら判断する。



ボーリング調査海域で魚をする漁船



中丸和則 議員

**質** 児童・生徒（人口）減少対策のため（DIY）バイオの平生町へ

**答** 町の施策としては調査・検討が必要



YCAMバイオラボ（写真提供：山口情報芸術センター）



キッチンバイオ（写真提供：山口情報芸術センター）

**質**

DIYバイオとは、別名キッチンバイオとも言われ、今まで大企業でしか行えなかったバイオの実験を一般人が簡単に安価に出来るシステムである。

学校の理科の先生、町居住の薬剤師、農協、田布施農工などの協力を得て実現できないか。

学校の理科の実験室を借りて実験というのはどうか。また、空屋に実験セットを付け入居者の募集をしてはどうか。

**答**

町長

町の施策として事業化するには、調査、検討が必要。また、DIYバイオがなぜ平生町なのか説明が難しい。人口減少対策は「アイ・ラブひらお」定住プロジェクト事業を着実に進めていく。

**答**

教育長

専門的な裏づけがないまま実験を行うことにはリスクを伴う。高校は所管が違うので回答は控える。



中村武央 議員

**質** 迅速で正確な情報の共有と連携を

**答** 情報共有・情報連携に一層の強化を図る

**質**

役場組織内や県・国などの対外組織との情報共有・情報連携の取り組みについて、より一層の強化を図るべく、現在の状況、今後の取り組みについて見解を問う。

また、県行政が、個人の質問や要望に対して直接の回答を差し控えている現状があるが、町行政としてこのことをどの様に考えるか。

**答**

町長

担当者から内容について上司に対し速やかに報告し協議を行い対策を講じる。関係機関に対しても情報を提供し共有した上で対策を講じる。本町だけで決できない事案は町職員が出向いて関係機関と問題の打開策を求め、町では引き続き目安箱設置、町長と語る会開催、役場の組織内外を問わず、情報共有、連携の取り組みに一層の強化を図っていく。



山口県柳井総合庁舎

# 常任委員会行政視察報告

## 総務厚生常任委員会

10月16日から18日にかけて、「ふるさと納税」、「定住促進等の取組み」、「気象防災システム」について、兵庫県香美町、市川町、上郡町にて行政視察をしました。

ふるさと納税は、何

度も修正をかけ、考案し改善することで寄付が毎年増え続けており、PRに力を入れた年には3倍の寄付を集めたことから当町もふるさと納税の返礼品の見直しと改善、PRにしっかりと取り組んでいけば成果がでるのではないかと感じました。ふるさと納税は財政力が脆弱な本町にとつては財源を確保できる策なのでしっかりと取り組んでいかなければなりません。

上郡町での「気象防災システム」はインターネットにより情報を収集し、気象情報を一つの画面に表示できることは「避

難の迅速な決定」に役立つツールだと感じました。「個人レベルで行動できるようなことになること」、それが人命を救うことにつながります。官民一体となって備えていきたいです。



市川町での視察

## 産業文教常任委員会

10月15日から17日にかけて、「オリーブの特産品開発」、「産業振興」について、香川県の「かがわ物産館栗林庵」、岡山県奈義町現代美術館、岡山県新見市の「道の駅 鯉ヶ窪」を視察しました。

栗林庵の他、東京に設置されたアンテナショップと連動させていくことが課題とのことでした。ネット販売もしています。オリーブの絞った実を乾燥させ、牛の飼料や魚のエサにしてブランド化しています。



道の駅 鯉ヶ窪

奈義町の現代美術館は人口の少ない町で維持、管理は大変だろうと思っただけですが、2階の図書館に、老若男女が多くおられ、びっくりしました。

新見市「道の駅 鯉ヶ窪」は、歯科を含めたMRIが設置された診療所、保育園、支所、図書館が合築されています。責任の所在はそれぞれの施設の長です。施設の機能を集約することでワンストップサービスを実現し、先進的な「小さな拠点」を形成しています。

## 熊毛郡町議会 議員合同研修会

令和元年10月30日に田布施町商工会館サリジェ多目的ホールにて「山口県の環境施策について」地球温暖化対策の講演を聴きました。

山口県環境生活部環境政策課 調整監 大嶋裕司氏に県の取組を説明していただきました。

豪雨が年々増えております。平生町も対策を考えなければなりません。



## 熊毛郡議会 広報視察研修報告

令和元年11月20日、午前10～12時に広島県世羅町にて上関町、田布施町、平生町の3町で、議会だよりの視察研修をしました。

世羅町の議会だよりは表紙がカラーで、24ページもありました。平生町は、表紙は白黒で、8～14ページですので、なかなか真似できない事が多いですが、参考になるレイアウト等もありましたので今後活かしていきたいです。



## 山口県町議会 広報研修会報告

令和元年11月8日の13時半～14時半に上関町総合文化センターにて周防大島町、和木町、上関町、田布施町平生町の広報委員が集まり、議会だよりに関して研修しました。2つの班にわかれ、各町から出された質問事項に答えていく形で、意見交換を行いました。

平生町は「一般質問を3問以上掲載する場合、レイアウトはどのような工夫をしているか」でした。意見を参考により良くします。



## 令和2年3月定例会 会期(予定)

3月9日(月)	本会議
10日(火)	本会議
11日(水)	予算特別委員会(予定)
12日(木)	予算特別委員会(予定)
13日(金)	総務厚生常任委員会
16日(月)	産業文教常任委員会
18日(水)	議会運営委員会
23日(月)	本会議

## 議会の動き

9月26日	魅力ある議会づくり調査特別委員会
9月27日	山口県町自治研修会
10月15日	産業文教常任委員会
10月17日	委員会行政視察
10月16日	総務厚生常任委員会
10月17日	委員会行政視察
10月30日	熊毛郡町議会議員合同研修会
"	魅力ある議会づくり調査特別委員会
11月8日	町議会広報研修会
11月20日	熊毛郡議会広報連絡協議会視察研修
12月2日	総務厚生常任委員会魅力ある議会づくり調査特別委員会
12月5日	産業文教常任委員会

## 編集後記

今2020年、明けましておめでとうございます。

オリンピックの年が始まりました。

小学生の時、東京大会の開会式で、伝書鳩が、国立競技場の空を埋め尽くすように飛び立った光景、円谷選手と英国の選手との競り合いに、学校のテレビの前で「円谷頑張れ」とみんなまで応援した事。今も忘れられない感動の場面でした。

近代オリンピックの父、クーベルタンは、「人生にとって大切なことは、成功することではなく努力すること」とオリンピックの理想を表現しています。

東京でも小平選手のような感動の場面に遭遇したいものです。私たちも、オリンピックの理想を motto に議会広報の編集に取り組んでまいります。

田中佐知

## 投稿コーナー

### 通学路じつと見ている 架け替えか 通行止めの 共栄橋を

デイサービスで「議会だよりの読みました。隣の席の人に「共栄橋はどこにあるの?」と聞かれ分かりませんでした。

図書館で、地図を出してもらい丁寧に教えてもらいました。習

成中学校跡のすぐ近くにある橋でした。大野から、歩いて通学していた橋です。橋の存在には気が付きませんでした。「私も、橋も年を取ったなあ。」昔をなつかしく思い出しました。

新しく架け替わったら、電動車椅子に乗り共栄橋を渡ってみたいと思います。